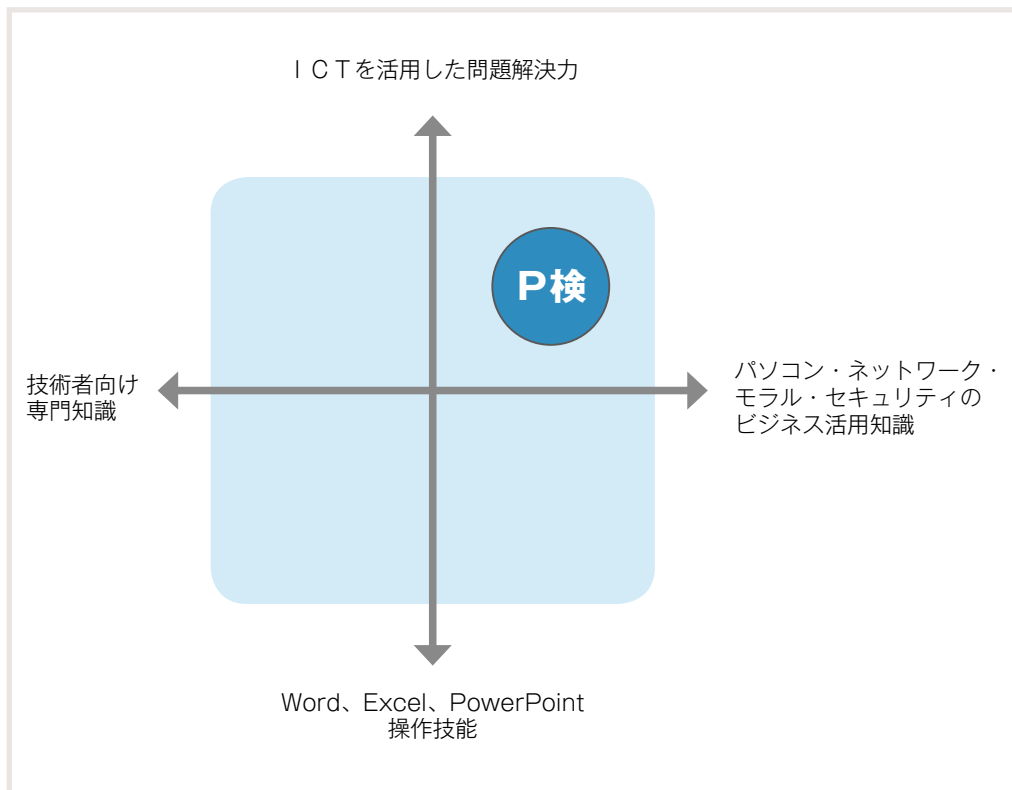




**P検のPはICTプロフィシエンシーのPです。**



主催:P検協会 (ICTプロフィシエンシー検定協会) 事務局 (P検事務局):株式会社ベネッセコーポレーション

後援: 一般社団法人 日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC)、一般社団法人 情報処理学会 (IPSJ)、  
日本教育工学協会 (JAET)、日本情報科教育学会 (JAEIS)、教育テスト研究センター (CRET)、  
日本 STEM 教育学会 (JSTEM)、東京都高等学校情報教育研究会、全日本中学校技術・家庭科研究会

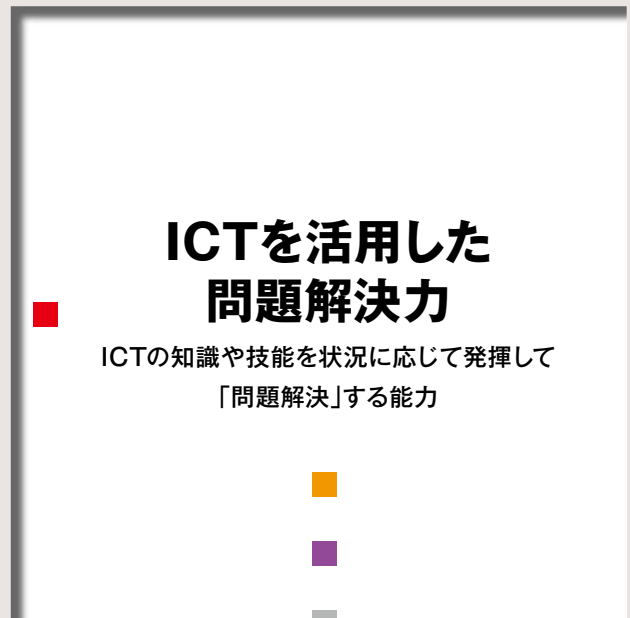
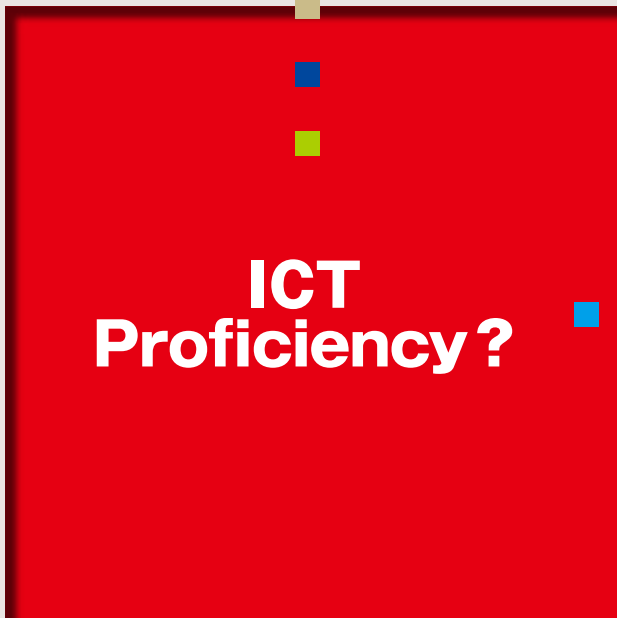
P検

検索



P検 (窓口) TEL : 03-5229-0045 (月~金 9:00 ~ 17:00) \* 祝日・年末年始を除く info@pken.com

# ICTプロフィシエンシーとは、 ICTを自由自在に駆使できる 力のことです！



## ICTを活用した 問題解決力

ICTの知識や技能を状況に応じて発揮して  
「問題解決」する能力



## ICTとは

「Information and Communication Technology」の略で「情報通信技術」の総称。  
「IT」はコンピューターや情報技術のことですが、「コミュニケーション」が加わっていることから、  
ネットワーク通信による情報・知識の共有を前提としている。  
つまり、パソコンやモバイル端末、ネットワークは、情報を共有して活用するためにある。それが「ICT」です。

# いま、企業は何を求めているか。

幅広くICTの知識を身に付けることによしょ？



ワープロや表計算ソフトが使えることによしょ？

ワープロや表計算ソフトが使えることは良い事です。しかしそれだけでは足りません。

ICT関連知識を豊富に習得することは良い事です。しかしそれだけでは足りません。



## 求めているのはICTプロフィシエンシーです。

**職場では、「ICTを活用した問題解決力」を求めています。**

今日のような高度情報社会では、情報を知識として有効に活用できるかどうかで、個人や企業の命運が大きく左右されることになります。文書が作れる、計算式が作れる、著作権法を知っているといった知識や技能を習得することは大切なことですが、それに加えて保有している知識や技能を「実際の状況に応じて発揮して問題解決する能力」を求めているのです。P検の最終獲得目標は、そんなICTプロフィシエンシーなのです。

## 期待度、注目度高まる、ICTプロフィシエンシーのP検。

進化するICT社会のパスポート

# P検

### 大学で!

■ P検はICT系のなかでNo.1の入試優遇対象資格!

・入試優遇 (2023年4月入学入試): 427大学 1,019学部 ・単位認定 (2022年授業): 60大学 142学部

### 企業から!

■ P検で素晴らしい時代を築く力を!

NTTラーニングシステムズ株式会社 教育研修事業部 部長 宮元 万菜美 様

■ 次世代人材教育に必須。新しいP検が拓く「生きる力」!

インテル株式会社 イノベーション事業本部 本部長 板越 正彦 様

■ 急激に進むグローバル化の中、日本の将来を見据えた資格試験!

日本マイクロソフト株式会社 バブリックセクター統括本部 業務執行役員 文教本部長 中川 哲 様

■ 81%の企業が、「ソフトウェア操作技能」や「ICT知識」に加え、「ICTを活用した問題解決力」までを求めている! (企業アンケート)

協力企業: NTTラーニングシステムズ株式会社、NECソフト株式会社、インテル株式会社、株式会社ウチダ人材開発センター、株式会社エスエスケイ、株式会社旺文社、株式会社大塚商会、岡三証券株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション、日本マイクロソフト株式会社、富士通エフ・オー・エム株式会社 他

# 人物像

# P検が役立つシーン

## 1級

### ICT活用におけるビジネスイノベーションリーダー

▼代表的なシーン▼

#### 【出題カテゴリー】

- ①情報セキュリティ管理
- ②企業内ネットワーク構築
- ③業務プロセス改革
- ④ICTを活用した問題解決

ICT活用によるビジネス価値の増大をリードできる人材

- 情報技術動向や現場のICT利活用状態を把握し、投資効果(目的と費用)を考慮した上で、情報インフラ、システムなどの企画、導入、開発の統括的役割や企業内外における調整や意見交換ができる
- 企業活動や業務プロセスをモデル化し、ビジネス価値を向上させるためのICT活用を社内で推進できる

パッケージの導入を検討するために、複数業者からの提案を分析・評価し選定する。



業務の必要要件を定義することができ、投資効果も含めた総合評価を行い、その評価内容をまとめる。

部門内の情報資産の管理・運用基準を策定し、部門への浸透を図る。



情報セキュリティポリシーに基づき、情報システム部門と協力して情報資産を整理し、業務上での管理・運用をリードする。

モバイル端末の導入に必要なソフト・サービスを選定し、社内のワークフローを変革する。



情報の共有や業務の流れをモデル化することができ、導入による業務効率の向上に関する評価を行い、業務でのモバイル端末の活用をリードする。

## 2級

### ICT活用におけるスペシャリスト

▼代表的なシーン▼

#### 【出題カテゴリー】

- ①コンピューター知識
- ②情報通信ネットワーク構築
- ③情報モラルと情報セキュリティ
- ④ICTを活用した問題解決
- ⑤プレゼンテーション
- ⑥総合実技

ICT活用の総合力を有し、高いレベルで、ビジネス上の問題解決ができる人材

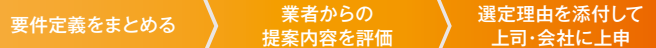
- あらゆるビジネスシーンでICTを有効活用する総合力を有し、高度なレベルで問題解決ができる
- 部門内スタッフに対するICTに関する各種指導ができる
- ネットワーク上のトラブル対処を含む、部門内の情報環境を整えることができる

社内教育用に電子テキスト(PDF)を作成し、社内Webサイトにアップロードする。



テキストの構成を検討し、電子化(PDF)による社内ノウハウの蓄積を図る。

サーバーをハウジングからホスティングに変更するために、複数業者からの提案を分析・評価し選定する。



部門の必要要件を定義することができ、価格や信頼性も含めた総合評価を行い、その評価内容をまとめる。

無線LANの導入に必要なハード・ソフトを選定し、社内LAN環境を一新する。



既存設備を見直し、適切なハード・ソフトを調達し、スムーズな移行に向け他をリードする。

## 準2級

### ビジネスに要求されるICT活用スキルを有する人材

▼代表的なシーン▼

#### 【出題カテゴリー】

- ①タイピング
- ②コンピューター知識
- ③情報通信ネットワーク
- ④情報モラルと情報セキュリティ
- ⑤ICTを活用した問題解決
- ⑥ワープロ
- ⑦表計算

- 高度なICT活用による職務の遂行と問題解決ができる
- 応用的なICT知識・スキルを有する
- 部門内の情報環境(PC接続など)を整えることができる

展示会の案内状を作成し、はがきに印刷する。



はがきの書式を踏まえ作成し、表計算ソフトで管理している名簿をもとに宛名印刷をする。

ホームページの内容を変更し、Webサーバーにアップロードする。



ホームページ仕様にあった形式でページを作成し、Webサーバーにアップロードする。

情報セキュリティを高めるため、フォルダーにアクセス権を設定する。



保存されている情報を分類し、情報セキュリティを意識したアクセス権を個々に設定する。

## 3級

### 入社時に要求されるICT活用スキルを有する人材

▼代表的なシーン▼

#### 【出題カテゴリー】

準2級と同様

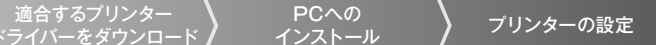
- 基本的なICT活用による職務の遂行と問題解決が、人を頼らずにできる
- 基本的なICT知識・スキルを有する

市場動向をインターネットで調査し、その情報を付加して、3D集計(串刺し集計)による年次営業報告書を作成する。



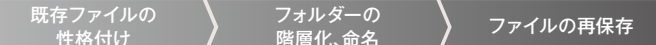
収集した市場動向の情報と、自社の営業実績を関連づけ、表やグラフを組み合わせてビジュアル化する。

メーカーのWebサイトから、プリンタードライバーを探し、PCにインストールし、通常使うプリンターとして設定する。



適切なWebサイトから、ドライバーのインストールを行い、通常使うプリンターとして設定する。

部門内の共有フォルダーを、命名規則に沿って整理・階層化し、ファイルの検索性を高める。



ファイルの検索性を考慮したフォルダーの階層構造を作る。

## 4級

### ICTの基礎的な知識・技能を有する人材

#### 【出題カテゴリー】

準2級と同様

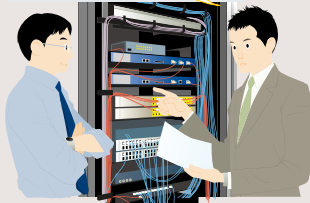
- ICTの基礎的な知識・スキルを有し、人を頼りながら、初歩的な職務の遂行ができる
- ワープロ、表計算、インターネットや電子メールなどの特徴と基本機能、用語などを知っている

## (ICTプロフィシエンシー・シーン)



▶ ISMSの考えに基づき、関係部署と協力して、当社の情報資産を「機密性」、「完全性」、「可用性」の観点から整理し、しっかりとした管理・運用の体制を作りたくと考えています。

▶ 初期投資額の早期の回収という点ではこのパッケージが適切だと考えますが、隠れたコストがありそうなので、そのあたりも業者に確認し、総合的に評価したいと思っています。



## コンテンツ・クオリティ・イメージ

以下は、2級以下のスキルマップに定義されている知識・技能を活用して作成することができるコンテンツのイメージです。



作成シートを入力フォームに見立てて、納品書・請求書を同時に作成し、発行履歴も蓄積できる。絶対参照マクロと相対参照マクロの組み合わせを利用したマクロで、効率化が図れる。

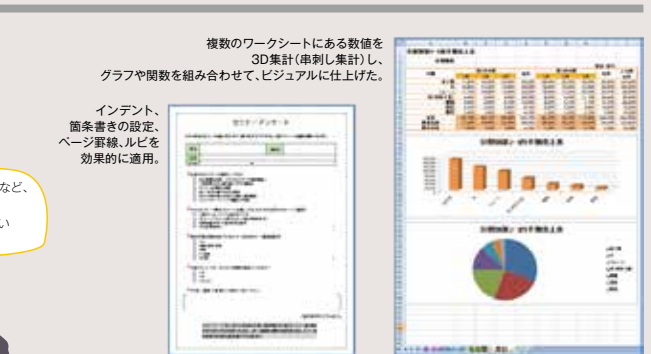


図・表・グラフ・スマートアート等を使用し、より視覚的・感覚的にわかりやすく、印象に残るスライド。「画面の切り替え」スライドショーの設定を行い、Escキーを押されるまでは自動的にスライドショーを繰り返すように設定、平面プロジェクターやディスプレイなどを使った広告媒体としても期待できる。



SUMIF関数により、分類ごとの合計値を計算。データベース機能により、入力データをいつでも抽出できるようにした。また、グラフの第2軸を修正することで、折れ線グラフの変化を分かりやすくしている。

「差し込み文章」機能により、Excelデータを宛先に活用したDM。



複数のワークシートにある数値を3D集計(串刺し集計)し、グラフや関数を組み合わせて、ビジュアルに仕上げた。

インデント、箇条書きの設定、ページ罫線、ルビを効果的に適用。

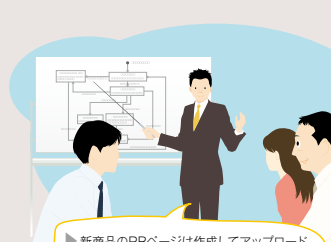


▶ 研修用のテキストを電子化するために構成を見直しました!

▶ PDFにして、社内Webサイトにアップロードするように



▶ 公開用のWebサーバーなので、セキュリティ面での対策が十分なされているか選定の大きなポイントだと考えています。運用ノウハウの社内蓄積をどのようにしていくかも併せて検討したいと思っています。



▶ 当部には、お客様の個人情報や営業秘密情報も多く登録されていますので、まずチーム単位に情報を分類しましょう。その上で、セキュリティ面に配慮したフォルダーアクセス権の設定案を作成しますのでレビューをお願いします。



▶ 新商品のPRページは作成してアップロード済みです。TOPページにキャッチコピーを入れてリンクも貼っておきました。それと、ご要望のあった「アンケート結果の集計機能」ですが、私の方で仕様をまとめて業者に伝えておきました。



▶ 部長のパソコンにプリンターのドライバーをインストールし、設定も行いましたので、いつでも新しいプリンターを使うことができます。

▶ 部で共有する提案書のひな形やお客様との契約書など、既存のデータを分類・整理しました。これからフォルダーの階層構造を作り、検索しやすい形に整えます。



文章の体裁を整え、図(素材)に枠線と上下余白を与えた。基礎的なスキルでも配布物として充分。



セルの罫線や塗りつぶし、結合を効果的に適用した。ビジネスで通用する報告書。

コンテンツ・クオリティ・イメージは、P検公式サイトにも掲載しています。実際にダウンロードして活用いただくことも可能です。

試験内容は変わることがあります。最新の試験内容については、P検公式サイトをご覧ください。( <https://www.pken.com> )

等級	区分	出題カテゴリ	出題形式	テスト時間 ※3		合格基準 (①②共に満たしている場合に合格)			受験料 税込 ( )内は 「学割価格」	
				出題 形式別	合計	① カテゴリー別 ボーダーライン		② 総合点基準		
						出題数	必要 正解数 (30%以上)			
ビジネス・イノベーション・リーダー (ICT活用によるビジネス価値の増大をリードできる人材)	1級 (1000点満点)	プロフィエンス	①情報セキュリティ管理 ②企業内ネットワーク構築 ③業務プロセス改革 ④ICTを活用した問題解決	選択式テスト・その他 論述テスト	90分	合計90分	10問	-	<計10問> ●1000点中700点以上(70%以上の得点率) ●カテゴリー別ボーダーラインは無し ●受験条件:2級以上の合格者であること	10,000円 (学割価格なし)
ICT活用スペシャリスト (ICT活用の総合力を有し、高いレベルで、ビジネス上の問題解決ができる人材)	2級 (800点満点)	一般問題	①コンピューター知識 ②情報通信ネットワーク ③情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト・その他	30分	合計70分	8問	3問以上	<計42問> ●700点中490点以上(70%以上の得点率) (プロフィエンス問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)	6,220円 (4,180円)
		プロフィエンス	④ICTを活用した問題解決	10問			3問以上			
		実技	⑤プレゼンテーション	実技テスト ※2			10分	8問		
		プロフィエンス	⑥総合実技 ※1	複合成果物作成型 実技テスト	30分		1課題	-	●100点中60点以上(60%以上の得点率)	
ビジネスに要求されるICT 活用スキルを有する人材	準2級 (700点満点)	タイピング	①タイピング	タイピングテスト	5分	合計60分	-	-	<計56問> ●600点中390点以上(65%以上の得点率) (プロフィエンス問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)	5,200円 (2,550円)
		一般問題	②コンピューター知識 ③情報通信ネットワーク ④情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト・その他	10問		3問以上			
			プロフィエンス		⑤ICTを活用した問題解決		10問	3問以上		
		実技	⑥ワープロ ⑦表計算	実技テスト ※2	13分		8問	3問以上		
入社時に要求されるICT 活用スキルを有する人材	3級 (600点満点)	タイピング	①タイピング	タイピングテスト	5分	合計60分	-	-	<計57問> ●500点中325点以上(65%以上の得点率) (プロフィエンス問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)	5,200円 (2,040円)
		一般問題	②コンピューター知識 ③情報通信ネットワーク ④情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト・その他	15問		5問以上			
			プロフィエンス		⑤ICTを活用した問題解決		10問	3問以上		
		実技	⑥ワープロ ⑦表計算	実技テスト ※2	13分		10問	3問以上		
ICTの基礎的な知識・技能 を有する人材	4級 (400点満点)	タイピング	①タイピング	タイピングテスト	5分	合計50分	-	-	<計50問> ●300点中180点以上(60%以上の得点率) (プロフィエンス問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)	3,060円 (1,530円)
		一般問題	②コンピューター知識 ③情報通信ネットワーク ④情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト・その他	15問		5問以上			
			プロフィエンス		⑤ICTを活用した問題解決		10問	3問以上		
		実技	⑥ワープロ ⑦表計算	実技テスト ※2	10分		5問	2問以上		
5級 (100点満点)	一般問題	①コンピューター知識 ②情報通信ネットワーク ③情報モラルと情報セキュリティ	選択式テスト	15分	合計15分	10問	-	<計30問> ●100点中60点以上(60%以上の得点率) ●カテゴリー別ボーダーラインは無し	無料	

P検免除テスト	等級	出題カテゴリ	出題形式	テスト時間	合計	合格基準		受験料
						出題数	必要正解数	
P検タイピング		タイピング	タイピングテスト	5分	合計5分	-	-	無料
P検アプリ (得点率100% 満点)	準2級	ワープロ 表計算	実技テスト ※2	15分	合計30分	9問	6問以上	等級・カテゴリー別に、得点率60%以上で「合格コード」が発行されます。「合格コード」を使用すると、本試験で該当カテゴリーを免除(スキップ)することができます。
				15分		9問	6問以上	
	3級	ワープロ 表計算		15分	合計30分	8問	5問以上	
				15分	8問	5問以上		
4級	ワープロ 表計算	15分	合計30分	5問	3問以上			
		15分	5問	3問以上				

※1 2級⑥総合実技は、ワープロソフト、表計算ソフトを使用し、与えられた課題(目的)に基づいた成果物を作成するテストです。評価は「1、指示の理解と把握」、「2、適切な操作」、「3、ビジュアル(ビジネス現場で通用する見栄え・見易さ)」について行われ、採点は、ヒューマングレーダー方式(人による採点)となっています。  
 ※2 実技テストは、単一アプリケーションを起動し、課題に基づいて実技操作を行うテストです。  
 ※3 テスト時間には、受験者情報入力時間、テスト開始前に説明を読んでいる時間、テスト画面が次のページへ切り替わる時間などは含まれていません。

- タイピングテストは、日本語入力(ローマ字、かな共通)の場合750文字、英字入力の場合1275文字が出題文字数となり、「入力文字数」÷「出題文字数」で得点が算出されます。(小数点以下四捨五入)尚、日本語入力の場合は、「入力済みひらがなの文字数」によるカウントとなります。
- ワープロ(Word)、表計算(Excel)、プレゼンテーション(PowerPoint)の実技テストのバージョンは、「2021」、「2019」、「2016」、「2013」、「2010」、「2007」に対応しています。パソコンにインストールされているバージョンを使用してテストを行います。
- 「選択式テスト・その他」には、選択式テストの他、等級により、メール操作、ファイル操作、疑似ブラウザ操作、ドラッグ&ドロップ、状況判断型テストなどの出題形式が含まれる場合があります。

「P検免除テスト」は、PASS認定校(認定試験会場)の受講生、  
もしくはPASS認定校による出張実施の際にのみ提供されるものです。

P検は、PASS認定校（P検認定試験会場）で受験することができます。受験可能日は、PASS認定校によって異なります。全国のPASS認定校は、P検公式サイトで検索ができます。

## ① 受験予約（PASS認定校に直接電話かメール）

- PASS認定校に直接電話かメールをして受験予約をしてください。  
（受験級、受験希望日をお伝えください）
- ※予約の際は、希望のアプリケーションのバージョンの有無もご確認ください。
- ※受験料は原則として当日支払いとなります。
- ※キャンセル、変更については、直接予約をしたPASS認定校にご連絡ください。

## ② 試験当日（本人確認/当日の持参物）

- ・受験当日は、本人確認をいたしますので、「顔写真付き身分証明書」（運転免許証やパスポートなど）を必ず持参してください。
- ・高校生以下は、学割価格で受験ができます。学生証を持参してください。
- ・受験当日は「受験料」をお忘れなくお持ちください。
- ・1級の受験者は、2級以上の合格IDをメモしてお持ちください。
- ※「顔写真付き身分証明書」が用意できない方は、健康保険証などの本人確認ができるものをお持ちください。本人確認ができない場合は受験はできません。

## ③ 合否結果

P検はCBT（Computer Based Testing）方式なので、試験が終了するとすぐに合否結果が表示され、合否通知は約一週間以内に発送されます。但し、1級・2級は後日判定のため、合否結果は表示されず、合否通知は約2週間後に発送されます。

**1. スクールで学ぶ** : P検対策講座を行っているPASS認定校をご利用ください。  
⇒ P検公式サイトで検索ができます。

**2. 教材で学ぶ** : ①無料教材（タイピング、模擬試験）  
⇒ P検公式サイトよりダウンロードしてご利用ください。  
②有料教材 ⇒ 以下の教材がお求めになれます。 \*価格には消費税（10%）を含みます。

### P検「合格シリーズ」テキスト

- 出題カテゴリーが、Lesson別に学習できるセミナー形式の教材です。（Lesson毎の確認テスト付）



等級	価格（税込）
1級	6,600円
2級	3,300円
準2級	2,200円
3級	2,200円
4級	2,200円

P検公式サイト、AmazonおよびPASS認定校、P検オフィシャル教材取扱い書店にて発売。

### P検「ドリル」

- 「解いて学べる」ドリルです。（別冊：解答と解説付き）
- P検受験前の確認テストとして最適です。



等級	価格（税込）
準2級	838円
3級	838円
4級	838円

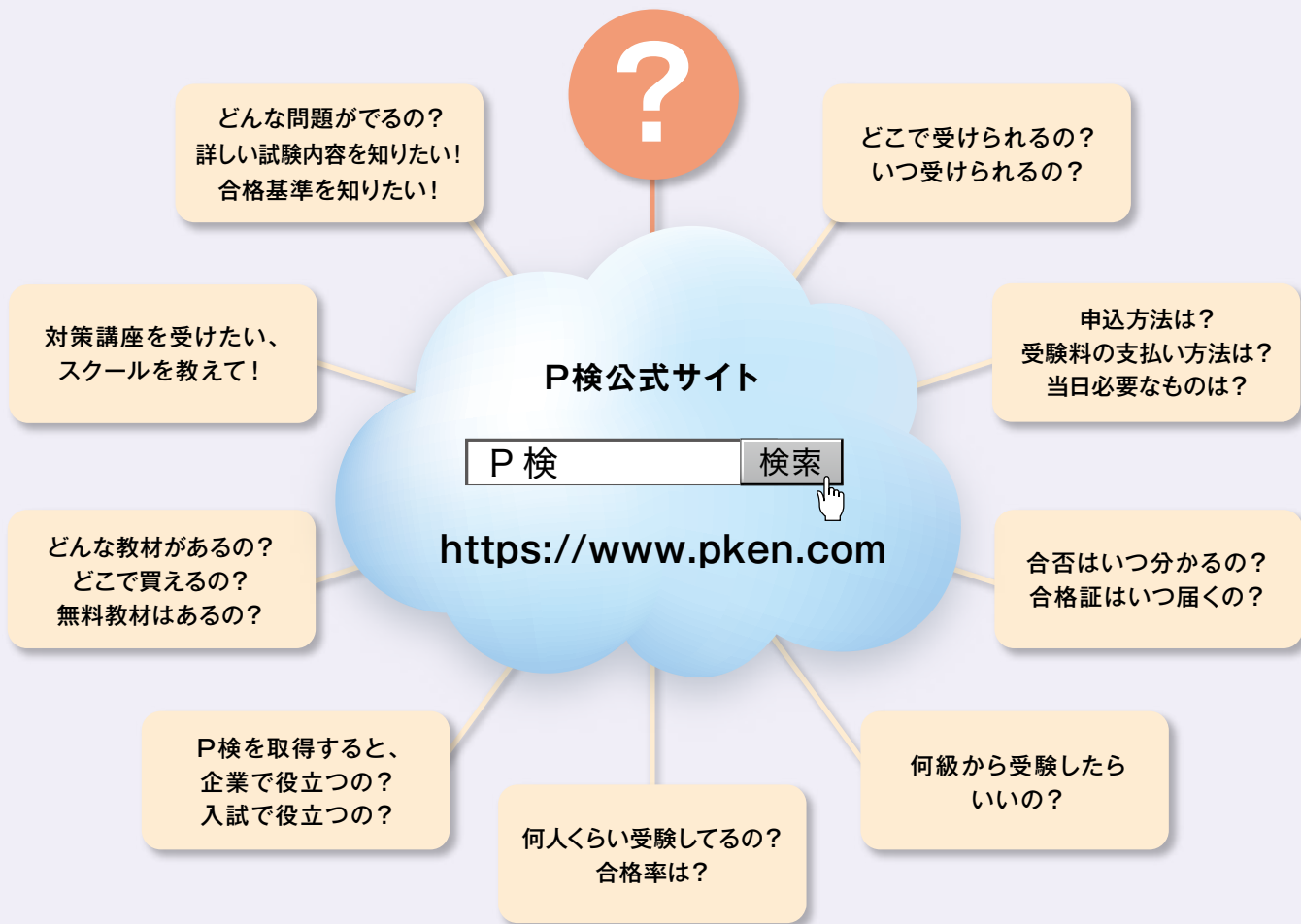
P検公式サイト、AmazonおよびPASS認定校、P検オフィシャル教材取扱い書店にて発売。

### 《お知らせ》

「CS-One」（CD-ROM教材）は、2020年度版より販売中止となりました。

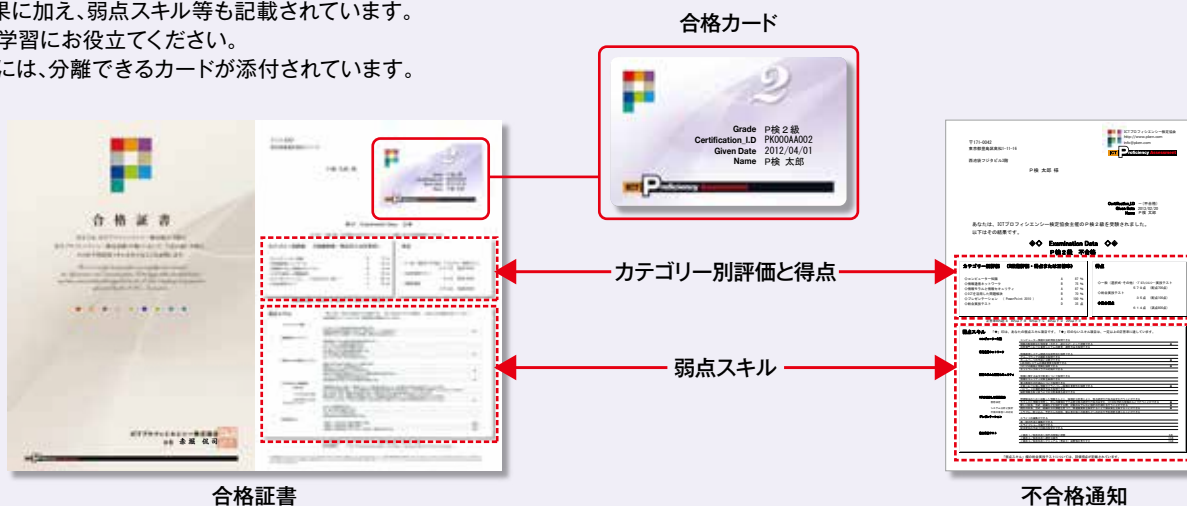
本教材の動画コンテンツにはAdobe Flashを使用しておりますが、Adobe Flashは2020年12月をもって終了となったため、大変申し訳ございませんが販売中止とさせていただきます。

# “受験情報”は、P検公式サイトから！



## 合格証書

- テスト結果に加え、弱点スキル等も記載されています。継続的な学習にお役立てください。
- 合格証書には、分離できるカードが添付されています。



※P検公式サイトを受験情報、合格証書のデザインや内容等は変わることがあります。

本パンフレットの内容は、2024年4月から2025年3月まで有効です。